

会 議 要 旨 書

会議名	令和7年度第1回三鷹市文化財保護審議会定例会
日時	令和7年5月19日(月)午後6時30分～8時30分
場所	三鷹市教育センター2階 第二中研修室
出席委員 (6人)	中野達哉、濱野周泰、福野明子、神野善治、M・ウリアム スティール、日高慎
欠席委員 (2人)	小林謙一、初田香成
行政職員 (5人)	スポーツと文化部長 大朝摂子、スポーツと文化部調整担当部長 平山寛、 生涯学習課長 八木隆、 同主査 下原裕司、同主任 早坂仁敬、齊藤満里奈
会議の公開・非公開	公開
傍聴人数	1人
<p>1 開会</p> <p>4月1日付けの人事異動について報告を行った。</p> <p>事務局より、「三鷹市市民会議、審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき会議の公開、会議録の作成、公開についての説明及び配付資料の確認を行った。</p> <p>2 令和6年度の文化財事業報告について</p> <p>事務局より、令和6年度の文化財事業について報告を行った。</p> <p>【A委員】深大寺地区資料調査というのは、旧村でいうとどこになるのか。</p> <p>【事務局】深大寺村である。</p> <p>3 令和7年度の文化財事業予定について</p> <p>事務局より、令和7年度の文化財事業予定について報告を行った。</p> <p>【B委員】収蔵品登録システムについて、導入後どう進めるのか。</p> <p>【事務局】職員がシステムに入力していく。</p> <p>【C委員】すでに導入しているシステムとは別のものか。</p> <p>【事務局】今回導入しようとしているのは、資料の所在場所を管理するためのシステムで、導入済のシステムとは別のものである。</p> <p>【C委員】資料のラベル管理はとても大事である。資料に直接貼ったり、くくりつけたりしたラベルは取れてしまう可能性が高く、そうなると使い物にならなくなってしまいうので、十分に気を付けてほしい。</p> <p>【A委員】「三鷹の民俗」の増刷について、この資料は情報としてはすごく貴重なので増刷はよいと思うが、個人情報や表現の問題が気になる。発行にあたって気を付けたほうがよいだろう。</p> <p>【C委員】問題のある表現について、削除したから価値がなくなるということもある。</p> <p>【A委員】市史編纂については、我々はどのように捉えればよいのだろうか。</p> <p>【大朝部長】議題3にもあるが、今年の4月から始動したので、令和7年度は推進体制の確立</p>	

と、予備調査に着手する。委員の皆様には、なにかの形で市史編さんに関わっていただくことになるかと思うが、関わっていただく場合、三鷹市文化財保護審議会委員としてではなく、市史編さんとしてである。本審議会には進捗報告となるだろう。

4 三鷹市史編さん事業について

事務局より、三鷹市史編さん事業について説明を行った。

【A委員】具体的な話はまだ検討中ということか。10年かけるという話があったが、私の経験上、10年でなかなか終わらず、15年かかったりしたこともあった。

【大朝部長】市史編さんのあいだに担当職員は変わると想定されるので、最初にきちんと方向性を検討してスタートし、収集した資料も活用していきたい。また、市民にとって身近な市史となるようなものを作りたく、それについても議論を進めているところである。

【A委員】収集した資料を市民等が活用して研究できるような体制が築けるとよいと思っている。

【D委員】多摩地区で市史が続々と刊行されている。最近では刊行後に写真や図などを盛り込んだわかりやすいビジュアル版を作成していることが多いので、それらの成果物を参考に、三鷹市の方針を検討してはよいのではないか。

【C委員】市史に携わってくれる先生をいかに確保するか、そして委員会やスケジュールなどを決めていく、この1、2年が一番大事だと思っている。

また、市史編さんを進めていくにあたり、場所は絶対に必要である。様々なものが集まってきて、それらを将来に残していくとなると、ある程度のスペースを確保する必要があるだろう。

【A委員】多摩地区だけでなく、いろんな自治体の市史や、報告書などの関連資料を積極的に確認したほうがよいだろう。

部屋についても、資料だけでなく、調査のための本が必要なので、スペースがいるということである。

【大朝部長】市史編さんを進める話が出てから、これまでに他自治体の市史やそれに関連する予算やスペース等の情報を集めているが、委員の言うとおりに、特に市史編さんの体制やスペースの問題については今後本格的に稼働するまでにはしっかり考えておきたい。

5 旧上仙川村神像調査報告書について

事務局より、旧上仙川村神像調査について報告を行った。

【A委員】三鷹として非常に貴重な資料である。

【D委員】室町時代のものだとすると、市の文化財に指定する必要があるのでは。

【大朝部長】所有者の意向を確認しつつ、専門家の助言と委員の意見があれば指定に向けて検討することは可能。

【A委員】厨子が作成されたのはいつ頃なのか。

【事務局】厨子についてはあまり調査ができていないため、改めて調査を実施するか検討する。

6 『みいむ』 vol.7・『三鷹市文化財年報・研究紀要』7について

事務局より、『みいむ』 vol.7 及び『三鷹市文化財年報・研究紀要』7について説明を行った。

7 『水車屋ぐらしを支えた民具』改訂版の刊行について

C委員より、『水車屋ぐらしを支えた民具』改訂版について説明があった。

8 その他

事務局より、フェローシップ及び広報みたか（4月16日号・三鷹まるごと博物館特集号）について説明を行った。

【事務局】次回（第2回）の定例会は7月14日（月）午後6時半からでお願いする。また、第3回の開催日について、事務局からは10月20日（月）午後6時半からでお願いしたい。

【A委員】それでは、次回定例会は令和7年7月14日（月）午後6時半から、第3回定例会は10月20日（月）午後6時半からとする。

以上をもって、令和7年度第1回三鷹市文化財保護審議会定例会を終了する。